



⑦えびな薪能／予算額800万円

相模国分寺史跡地において、今年度も「えびな薪能」を開催し、歴史と文化のまち海老名の魅力を発信します。

⑧海老名駅周辺整備／予算額8億5,880万円

海老名駅東西一体のまちづくりに向けて、小田急・相鉄海老名駅とJR海老名駅との間の駅間地区自由通路を、現在の幅員4mから12mに拡幅整備します（平成26年度完成）。また、良好な市街地形成に向けて、海老名駅西口地区土地区画整理事業を促進します。

⑨(仮称) 市民活動支援施設／予算額11億7,410万円

(仮称) 市民活動交流施設は、子どもから高齢者、障がいのある方まで、すべての市民が等しく活動できる施設で、今年度中に完成します。さらに、市民の運動機能を維持向上し健康増進を図る施設として、(仮称) 市民活動健康増進施設の建設に着手します。

⑩(仮称) 食の創造館／予算額3億4,320万円

学校給食だけではなく、「食」をキーワードとした広く市民にサービスを提供する施設として今年度中に開設します。災害時の炊き出し機能も有しており、会議室や調理実習室については一般開放も行います。

⑪海老名運動公園／予算額2億2,660万円

海老名運動公園体育施設のうち、陸上競技場、野球場電光掲示板および屋内プール受水槽の改修をします。また、今年度も海老名運動公園を会場に、えびなの魅力、活力、地域力を発信することを目的に「えびな市民まつり」を開催します。



さらなる成長へ、
元気をつなぐ
確実な予算

「今の海老名市に必要なこと」、「将来の海老名市のために、今何をすべきか」という観点から、24年度の「お金の使い道」を考えました。

①3市共同指令センター／予算額7,370万円

海老名市、座間市および綾瀬市による消防通信指令事務の共同運用に必要な共同指令センターの建設に着手します。

②さがみ野安全・安心ステーション／予算額1,650万円



さがみ野安全・安心ステーションを防犯拠点として、市内全域で青パト車による「青色防犯パトロール」を365日実施します。

③④⑤大型防災備蓄倉庫／予算額8,320万円

災害時の防災資機材や生活必需品を備蓄し、迅速かつ効果的な防災体制を構築するため、市内で3カ所目の大規模防災倉庫を南部地区（杉久保・図中⑤）に建設します。

なお、1カ所目の北部地区（上今泉・図中③）は、平成24年2月に開設しており、2カ所目の中部地区（大谷※平成23年度繰り越し事業・図中④）は、24年度中に開設します。



⑥農業拠点施設整備および農機具の貸し出し／予算額9,750万円

南部地区に農業の拠点施設の建設を進め、乾燥・収摺設備などの共同施設を設置します（平成23年度繰り越し事業）。また、コンバイン、トラクター、田植機などを農業者などに貸し出すことにより、農地の有効活用と遊休農地の削減を図ります。

歩行者の方へ

■歩道整備の推進
予算額 4億4,670万円

歩車道の分離を図り、歩行者の安全性と快適な道路空間を確保します。また、歩道のバリアフリー化により、交通弱者が安心して通行できる道路整備を推進します。

高齢者の方へ

■家事援助サービス
予算額 240万円

介護保険対象外でホームヘルパーを派遣し、家事援助サービスを提供します。さらに、買い物困難な方に対し、買い物援助を実施します。

居場所づくり

■居場所づくり
予算額 100万円

総合福祉会館で高齢者が自由に集い、語ることでできる場を提供します。また、週1回のペースで各種教室を開催し、高齢者の仲間づくりや趣味のきっかけづくりのための「おしゃべりクラブ」も開設します。

在宅介護者の方へ

■介護環境づくり
予算額 230万円

要介護度4または5の方を在宅で介護している方に対し、日々の介護

保護者の方へ

■子ども医療費助成
予算額 5億2,960万円

子ども医療費助成事業については、所得制限を設けず、中学3年生までの入院・通院費用を助成します。

小学生・中学生の方へ

■35人学級・少人数指導
予算額 2780万円

35人学級、少人数指導などを積極的に実施するため、非常勤講師を配置し、きめ細かい指導体制を確保します。

省エネに取り組み方へ

■環境保全対策支援
予算額 3910万円

太陽光発電施設など省エネルギー施設などの導入・設置費用の一部を補助します。太陽光発電施設の補助限度額を20万円に引き上げるとともに、電気自動車用急速充電スタンドや電動バイクなど、補助対象を拡大します。